

Fig. 16. *Leptobryum lutescens* (Limpr.) Moenkem.

- A. Plants ($\times 1.5$). B. Plant greatly enlarged ($\times 12$). C. Lower leaf ($\times 45$).
 D. E. upper leaves ($\times 23$). F. Cells from basal part of leaf ($\times 250$). G. H.
 Capsules ($\times 14$). I. Capsule with a lid ($\times 14$). J. Peristome ($\times 95$).

ナシゴケモドキ (新稱)

前種ナシゴケによく似ているが、全體に光澤が少く、前種ほど繊細さがないので、肉眼で大體の區別はつく。北アルプス白馬山麓中、鎚岳の中腹、鎚温泉で見出す。日本フロラの新種である。硫黄泉の近くの土上に温泉の湯氣を被りながら生育している。蘚座はかなり密で高さ約 1cm 黄綠色を呈する。葉形は披針形の基部から次第に針狀部に移行するが、針狀部は一般に前種ほど長くない。葉縁は中央以上に鋸齒を有する。莖柄は約 2cm に達し波曲するが前種のものよりやや太く光澤が少い。中北歐に分布。(續)

〇アオウロコゴケ *Coriscium viride* (Ach.) Wain. の第3回目の發見 (朝比奈泰彦) Yasuhiko ASAHINA: A new locality of *Coriscium viride*.

此の稀品は最初(昭和8年7月)秩父戸波山で發見され、次で昭和11年8月白馬大池の周圍の粘土土に見出されたが、本年(昭和26年7月)鈴木時夫君が尾瀬北境の鑿岳の高所ハイマツの蔭で採集され久し振りで珍品を見ることができた。